

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース
 パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校
 天津大学建築学院

2016 年度国際建築・都市設計ワークショップ

「Public Space Revitalization by Connecting Two Urban Axes」



大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コースでは、2016年4月25日(月)から29日(金)までの5日間、名古屋大学東山キャンパス環境総合館1階レクチャーホールを会場として、フランスのパリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校(ENSA-PVS)と中国の天津大学建築学院と合同で、建築・都市設計ワークショップを開催しました。今回はENSA-PVSから都市計画や建築を専攻する15名の大学院生、天津大学から同じく大学院生・学部生14名と名古屋大学建築学コースの大学院生18名(うち2名はNUPACE留学生としてENSA-PVSから名古屋大学に在籍中)の計47名が参加しました。ワークショップの指導はENSA-PVSのBoris WELIACHEW教授とMarc TABET教授、天津大学の鄭穎副教授と何捷副教授、本学の小松尚准教授と宮脇勝准教授、および4名のティーチングアシスタントが行いました。また、3日目からは天津大学建築学院副院長の孔宇航教授と許蓁副教授も参加、指導を行いました。

本ワークショップは、本学の建築学コースとENSA-PVSおよび天津大学の修士課程相当の学生を対象に、異なる文化的背景を持った学生同士が英語を共通言語にして一つの建築・都市デザインの提案をまとめる機会として2009年から開催しています。また本ワークショップは、ENSA-PVSとは2009年度に、天津大学とは2015年度に締結した学術交流協定に基づいて、3校の協力の下、実施しています。

今年度は昨年度と同様、名古屋の都心の特徴付ける久屋大通と新堀川という2つの都市軸をつなぐ敷地を対象に、公共空間や商業・居住空間の整備、新堀川を活かした水と風の道のデザイン、減災等をテーマに、建築・都市デザイン提案を検討しました。この2つの都市軸の接点には「フラリエ」や堀留水処理センター、公営住宅、中学校など公共施設が集積しており、久屋大通公園と新堀川という特徴的な公共空間を空間的につなぐための条件が整っています。同時に、都市スケールと建築スケールの両面から対象敷地を検討し、提案することが重要となります。昨年度との違いは、提案対象となる敷地の設定が少し変更されたことと、WSまでに各大学で敷地および周辺の都市的分析を行い、その結果を持ち寄ってWS期間中に日仏中の混成グループ(1グループ6名が基本)で建築・都市デザインの提案を検討し、発表するための図面や模型を制作することにした点です。

参加学生は7つの混成グループに分かれ、1日目は名古屋の都市計画・まちづくりとランドスケープ・デザイン、アーバン・ファームに関する講義を受け、現地の確認を行った後に課題や魅力を分析、共有し、2日目以降はグループ作業を行いました。3日目には中間発表会、5日目の夕方には成果発表会と送別会を行いました。この間、3日目午前には世界的建築家である槇文彦氏によって設計された本学の豊田講堂を見学しました。成果発表会では、各グループの調査・提案がA1版4~5枚の図面と模型によって発表されました。議論や制作時間は短い時間ながら、どの提案も今後の名古屋都心の建築・都市デザインの参考になる内容でした。この成果発表会には名古屋大学の教員や大学院生、学部生だけではなく、名古屋の建築・都市デザイン関係者も来場し、学生提案へのコメントとともに来場者間での意見交換が活発に行われました。神沢博環境学研究科長も出席され、最後にコメントもいただき、盛会のうちに終了しました。

本パンフレットは、ワークショップの成果物をまとめたものです。



Site



■概要

2都市軸「新堀川」と「久屋大通公園」の間に位置するこの場所のいくつかの問題を解決することを目的としたプロジェクトにおいて、私たちは、農業のランドスケープと伝統的な日本の寸法形態を組み合わせることにした。敷地本来の高低差を利用し一間、三間、五間の寸法を用い東西方向にグリッド状に基準線を引きそれぞれ水路、農地、住居、店舗を配置しモザイク状に敷地南側に配置している。また敷地の北側は公園を残し、ペDESTリアンデッキでつなぐことで、久屋大通公園と緑の軸を引き込んでいる。住居や店舗、農地が交わりあい、多様なアクティビティが生まれるきっかけとなる場を計画した。

■メンバー

GSES-NU

Ayane ICHIKAWA

Manato KIRIYA

Alix FAVRE

TIANJIN Univ.

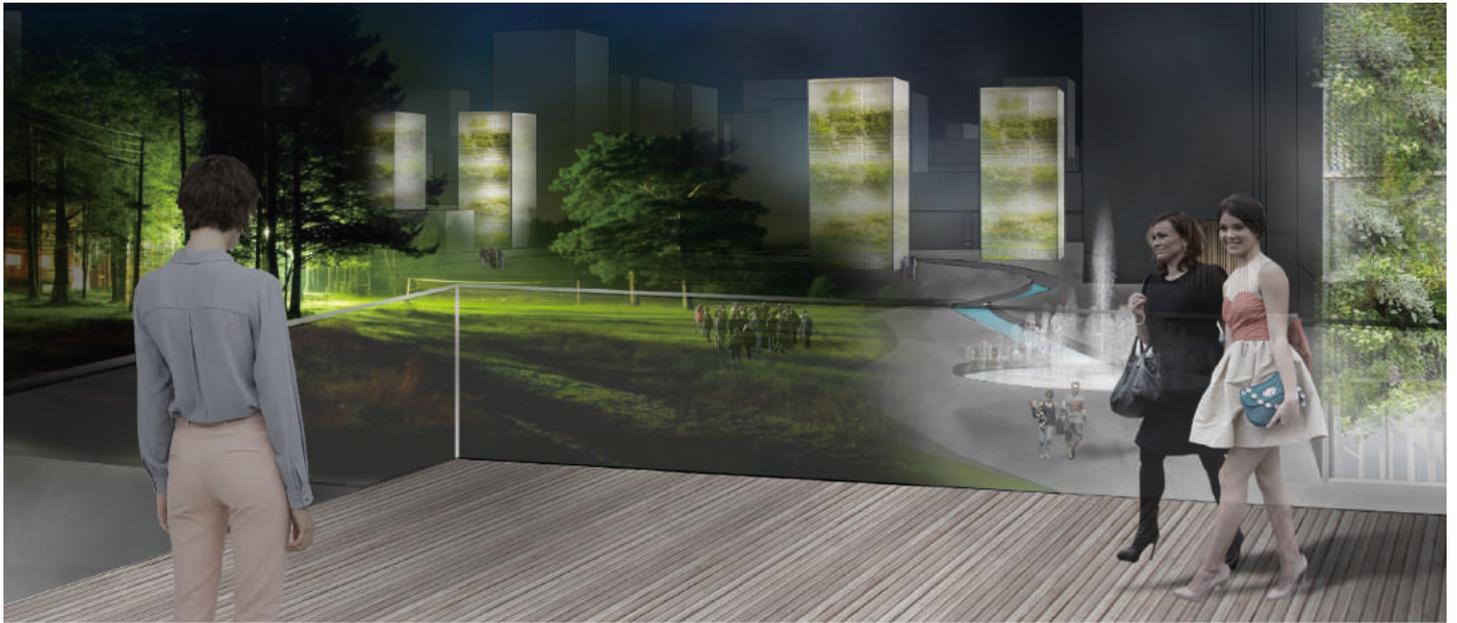
Wenjia BAI

Huiyu DENG

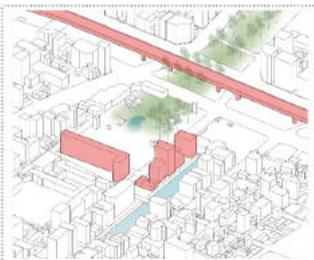
ENSA-PVS

Léa BOISVERT

Noémie HARDOIN

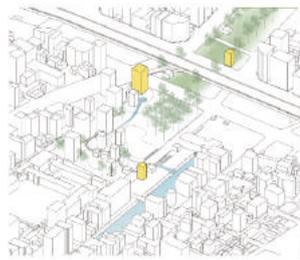


ANALYSE

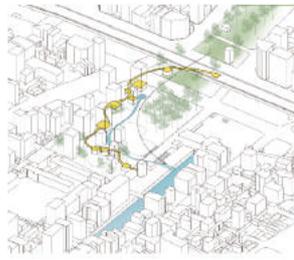


SEPARATE

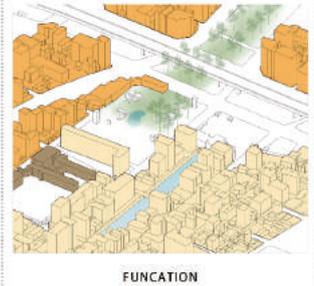
STRATEGIES



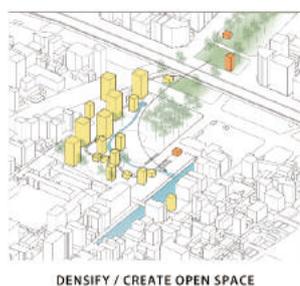
LANDMARK



LINKS



FUNCTION



DENSIFY / CREATE OPEN SPACE



MIXITY



Residence • Urban farm • Commerce Agriculture Commerce



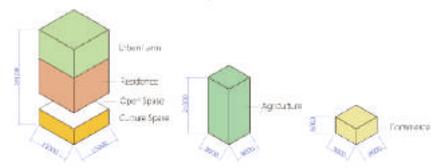
COMMERCIAL



OPEN SPACE



RESIDENTIAL

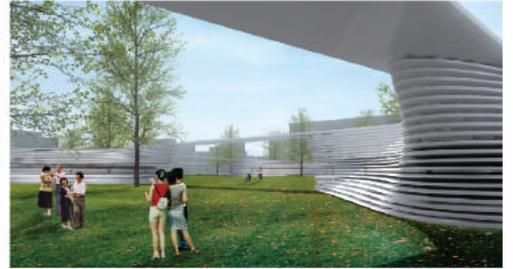
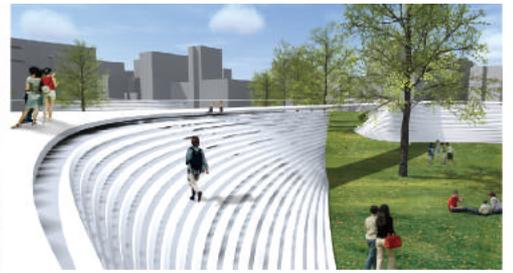


■概要

久屋大通りの緑の都市軸・新堀川の水の都市軸をつなぐために「Rotation Path」をコンセプトに設計を行った。私達の提案では敷地の中で視線が抜けにくいことや大きな建物のみが都市軸を受けていることを問題点として取り上げた。住戸やアーバンファームを複合させた複数のヴォリュームを周囲の都市環境・密度に対応させるように分散配置し、デッキで繋げることによって人の流れを生み出した。デッキのしたは公園の中の休憩スペースとなるだけでなく、商業施設が挿入されており敷地の中でも異なった印象を作りだしている。また既存のフラリエの森や公園から川へ流れる水路、川辺に設けた階段上のオープンスペースによってランドスケープによる軸の連結を視覚的・身体的に行っている。そして人々は敷地内を往復するうちに栄の中心部に魅力的な都市軸が隠れていたことを認識する。

■メンバー

- GSES-NU**
 Mahito UCHIDA
 Takuma TAKEWAKI
 Qiuhan YANG
TIANJIN Univ.
 Liuyuan GUO
 Sasa JIANG
ENSA-PVS
 Laura MAYHEW
 Laura HUBERT



■概要

名古屋城、役所、名古屋港、笹島ライブ、東山動物園、名古屋大学などの重要な都市施設は久屋大通、若宮大通り、新堀川、名城線といった都市軸に接しており、これらの軸が交わる場所にある敷地は重要な場所だといえる。そこで、将来的にこれらの都市軸を中心に名古屋市内の重要な施設を動線や緑で繋ぐネットワークをつくり、そのなかで敷地内にハブとしての機能を果たす場所を提案する。

久屋大通、若宮大通り、新堀川から続くネットワークを敷地に引き込みそれぞれを接続しつつ、ネットワークの下に建物を配置する。敷地内のレベル差、建物と地面のレベル差にレイヤーを差し込み敷地内をスムーズに移動できるようにした。レイヤーは階段状になっており、そこでアーバンファームや緑化が行われその間が階段や展示スペースとなっている。それらが敷地内のオフィス、店舗、住居と交ざりあいそれぞれの活動を外部で行うことを誘発しこの場所の活気をつくりだす。



■メンバー

GSES-NU

Kenichiro NAKA

Daiki YOSHII

TIANJIN Univ.

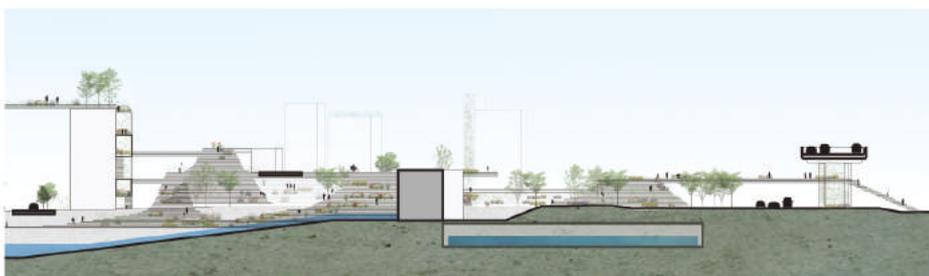
Meng YUAN

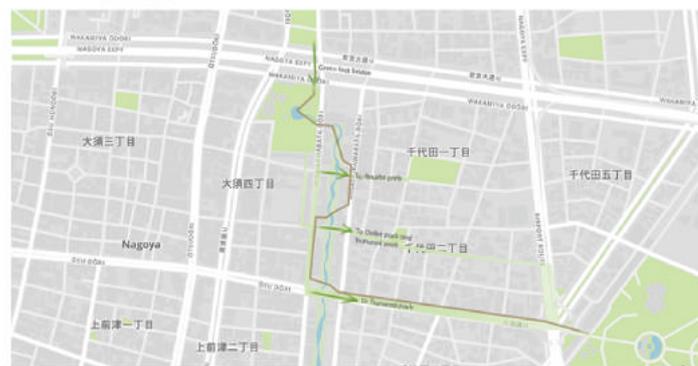
Anqi LIU

ENSA-PVS

Jules AUMIGNON

Antoine COURDY





main concept : connecting other parks in order to shift the end of Hisaya park

■概要

私たちのチーム提案は久屋大通公園と新堀川をつなぐだけではなく、他の周囲の公園や緑地との関係を作ること、この軸の終わりをこの敷地の中で完結せず、鶴舞公園まで繋げる事です。人の流れを生み出すように公園の中はアクティビティによってデザインを変化させ、公園内の建物は人の流れを受けよう、ペDESTリアンデッキに呼応する形態へと変化させました。この建物に周囲の飲食店から排出される生ゴミを集める堆肥化することでこの公園で行うアーバンファームに利用する機能を付加します。また、公園内のペDESTリアンデッキは高さが変化することで人のアクティビティを受け入れます。

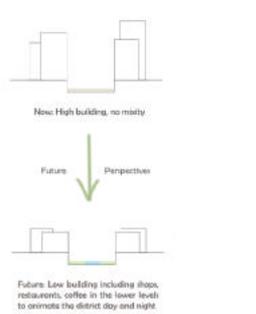
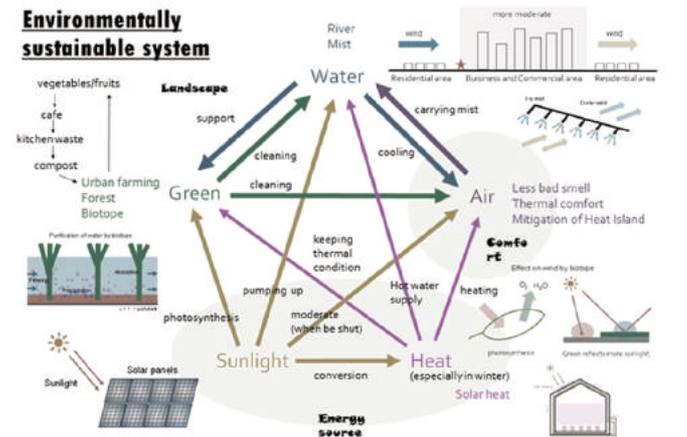
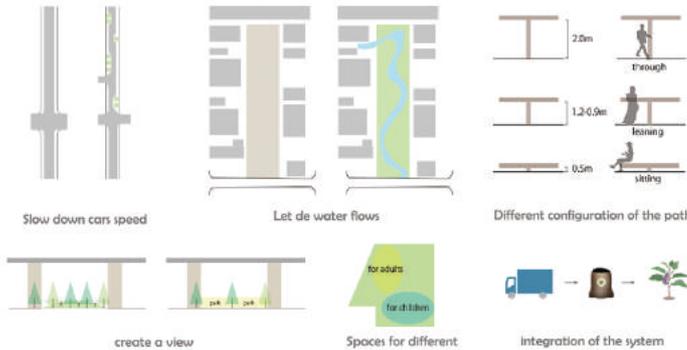
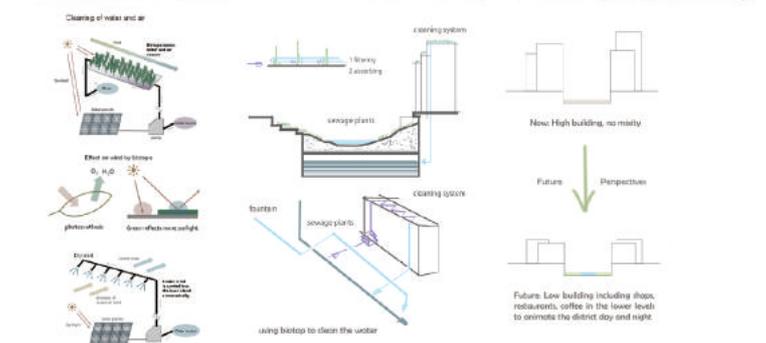
また名古屋市の抱えるヒートアイランド現象に対して環境面からの5つの提案を行っています。公園は熱・光・水・風・緑の持続的なシステムを持ち公園の中でエネルギー収支が完結しています。

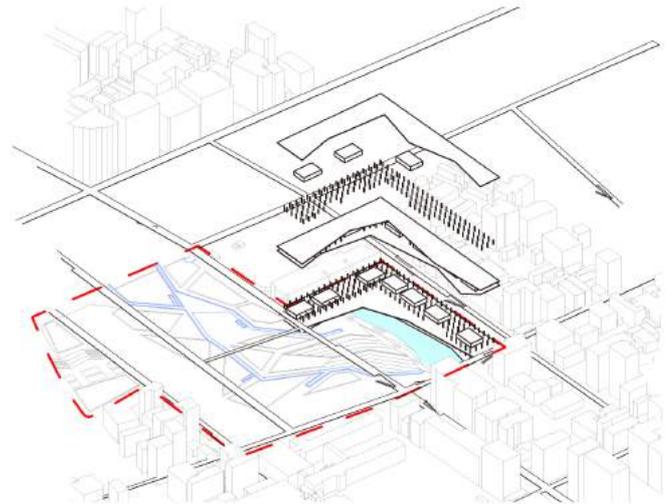
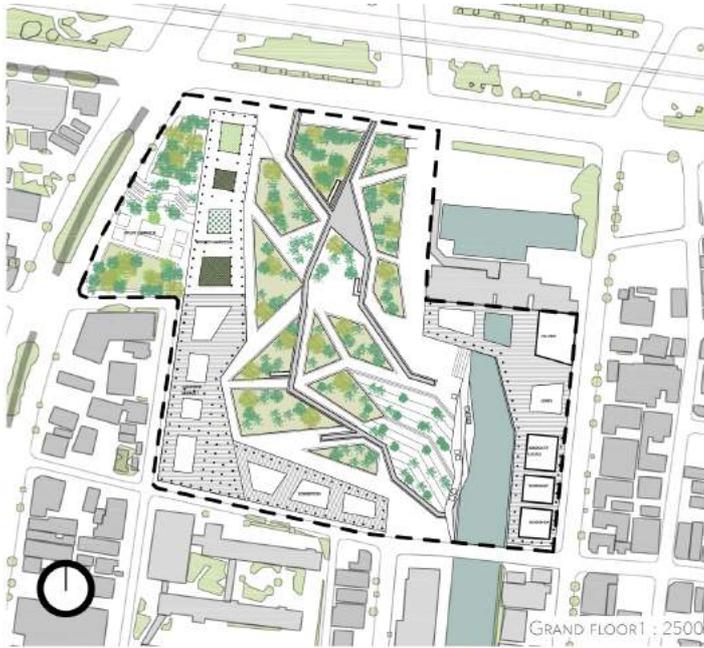
■メンバー

- GSES-NU**
 Sayaka ICHINO
 Satoshi MAKI
 Valerian
 KLEINSCHNITZ

TIANJIN Univ.
 Kuan WU
 Yicheng ZHAO

ENSA-PVS
 Meriem IZGHOUTI
 Valerina
 KORNEEVA



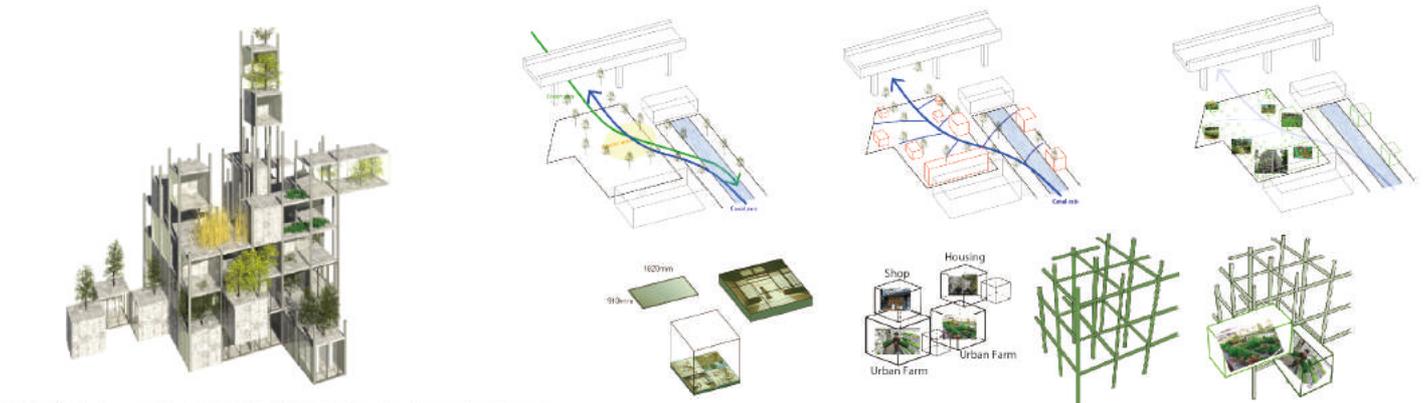
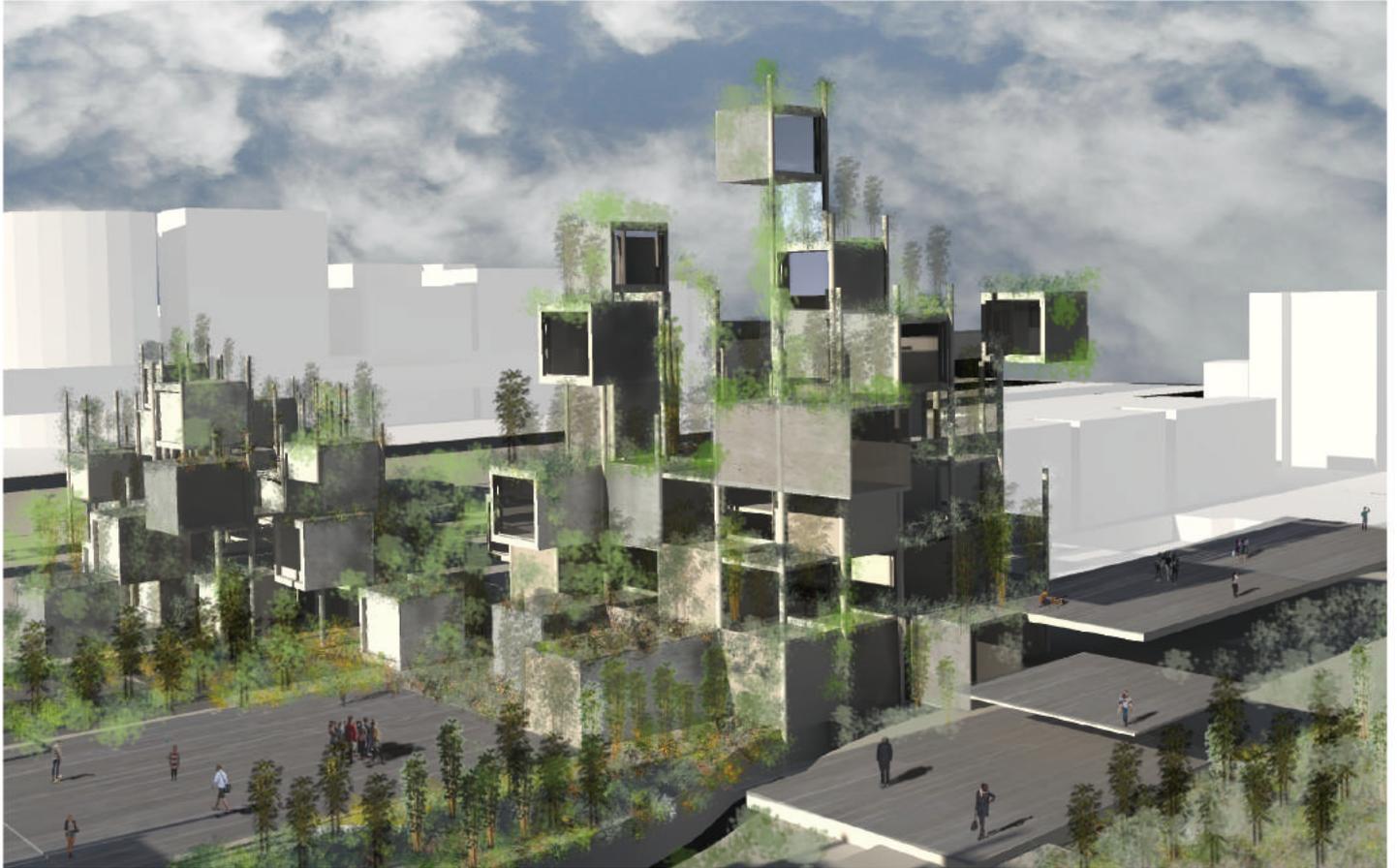


■概要

私達は久屋大通と新堀川の軸線をどの様に「繋ぐ」かに主眼をおいた。L字の2つの建築は、片方の軸線を「受け」てもう一方の軸線へ「流す」ことで、この敷地のコンテクストに応答した。建築は水平なスラブと荷重を支える細い柱、建物内のコア部からなっている。スラブと柱は、ランドスケープと一体となり、敷地内外を見通し、繋がるように透明性のある建築を提案し、コアは周辺のボリュームに合わせた。全体性として敷地外に延長されたデッキとの連続性を考慮して水平方向に強い方向性を与え利用者に2つの軸線へガイドする役割を担っている。更に建築に囲まれた空間は久屋大通の終点としての広場に置き換わり多様なアクティビティを創出する。敷地外にまで延長されたデッキは喧騒な車両交通と自転車・歩行者を適切に分離し、この敷地と敷地外をゆるやかに「繋ぎ」、建築と一体化する。

■メンバー

- GSES-NU
- Mao ASANO
- Taiki FUJIEDA
- Naoyuki YAMASHITA
- TIANJIN Univ.
- Xiaoyu LIU
- Xingyu ZHAO
- ENSA-PVS
- Leo CLENET
- Olivia SIRI



■概要

久屋大通りからの緑の軸を建物の緑で、新堀川からの水の軸を activity を行う landscape の platform でつなげる。

竹の格子により構造を作り様々な機能が入った Box を挿入することによって、周りから農業の様子を見ることができる。また、建物が崩れ広がることによって、建物同士を繋げている。都市に新しい安らぎの場所としての“Bomboo forest”を提案する。

■メンバー

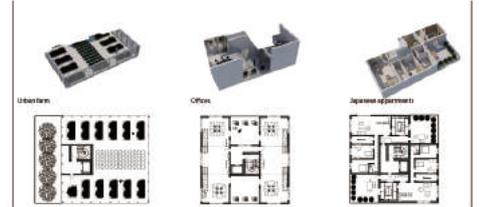
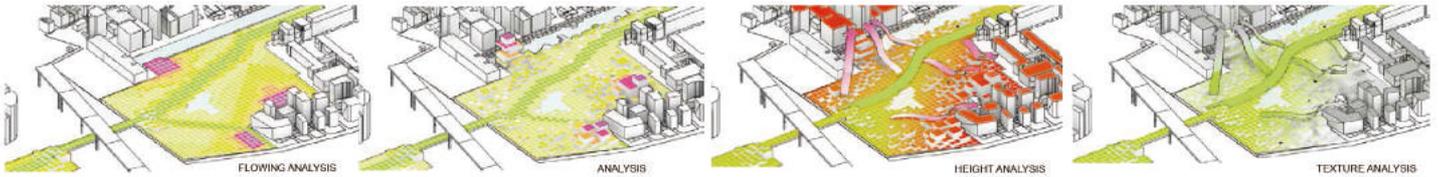
GSES-NU
Mio IWASE
Hirosuke NAKAWURA

TIANJIN Univ.

Dan BAI
Junlu TAN

ENSA-PVS

Magelone BOURGOIN
Philippine MICHET DE
VARINE-BOHAN



■概要

敷地全体にスケールの異なるキューブを点在させることによって人の流れやボルダリングなどのスペースと言ったアクティビティ、ランドスケープを作り出し、久屋大通と堀川を繋ぐ公園を提案する。周辺分析から敷地内には3つの重要なポイントがあると考え、そこにそれぞれの都市農園、集合住宅、図書館を中心とした文化施設を配置する。

建物は周辺建物は周辺の高さに合わせてただちにキューブを配置し、敷地内の緑から周辺建物のテクスチャーに段階的に馴染ませることによって、都市と繋がるランドスケープを造りだす。キューブのない部分は歩道となり、久屋大通から来た人が新堀川や周辺道路へと繋がり、歩道によって人が新堀川に向かうことで、久屋大通と新堀川が繋がり2つの都市軸のズレを解消する。

また、この計画は新堀川の最北端を起点として10年ごとに1区画ずつキューブによるランドスケープが広がっていく。負のイメージが強い新堀川に新たなアクティビティが発生し、美しい景観が生み出される。

■メンバー

GSES-NU

Sho KITAMURA

Misaki NAGAYA

TIANJIN Univ.

Xiangyu GAO

Shangyu LIU

ENSA-PVS

Melanie LE MORVAN

Malak KOMIHA

Neila AMHIS



名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース
パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校
天津大学建築学院
交流実績

2009年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2009

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 40 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090413/index.html>>

2009年9月：Japon Workshop ENSA-PVS / GSES-NU 2009-2012 Prospective Metropolitaine

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090927/index.html>>

2009年9月：名古屋大学大学院環境学研究科とパリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校の間で協定及び覚書を締結

報告記事 < <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20091130/index.html>>

2010年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2010

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 12 名、GSES-NU 大学院生 36 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100412/index.html>>

2010年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2010-2

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生約 30 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100921/index.html>>

2011年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2011

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 18 名、米国カンザス大学大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>>

2012年4月：国際建築・都市設計ワークショップ 2012

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 9 名、テルアビブ大学学生 9 名、GSES-NU 大学院生 27 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>>

2012年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2012

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 18 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20120924/index.html>>

2013年4-5月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2013

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、GSES-NU 大学院生 17 名が参加)

報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140414/index.html>>

2013年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2013

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 15 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)

報告記事<<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20130916/index.html>>

2014年4月：GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ.合同建築・都市設計ワークショップ 2014

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、GSES-NU 大学院生 21 名、天津大学 1 名が参加)

報告記事<<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140414/index.html>>

2014年9月：GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ.合同建築・都市設計ワークショップ 2014

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 26 名、GSES-NU 大学院生 7 名、天津大学 4 名が参加)

報告記事<<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140922/index.html>>

2015年5月：GSES-NU/ TIANJIN Univ.合同建築・都市設計ワークショップ 2015

(会場：名古屋、GSES-NU 大学院生 17 名、天津大学 8 名が参加)

報告記事< <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20150525/index.html> >

2015年9月：GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ.合同建築・都市設計ワークショップ 2015

(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 約 60 名、GSES-NU 大学院生 6 名、天津大学 2 名が参加)

報告記事<<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20150914/index.html>>

2016年4月：GSES-NU/ENSA-PVS/ TIANJIN Univ.合同建築・都市設計ワークショップ 2016

(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 15 名、GSES-NU 大学院生 18 名、天津大学 14 名が参加)

報告記事< <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20160425/index.html>>

※2011年4月の名古屋でのワークショップは、東日本大震災発生のため中止した。



NAGOYA
UNIVERSITY

